

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	140 セキュリティ対策管理経費	会計	01	一般
		款	02	総務費
		項	01	総務管理費
基本施策	52 高度情報化に対応した地域と市役所をつくる	目	09	情報化推進費
		細目	140	情報システム管理経費
行革大綱の重点事項番号		9	細々目	55
担当部課	コード	11400	担当者氏名	馬場 清
	名称	情報推進室		
			連絡先	22 - 9625 (内線) 2140

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	伊賀市基幹系情報系ネットワーク	※対象件数
成果(どうする)	ネットワークへの不正侵入や情報漏えいを防止し、伊賀市の情報資産を守る	
根拠法令・要綱等		
開始年度	平成 16 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業内容	情報システムのセキュリティ対策を実施し、市職員等の使用方法など現状分析と見直しを行うことにより、市民から預かっている個人情報及び行政内部情報の流出を防ぎ改ざん防止など安全性を確保する。 平成21年度は、情報漏えい防止システム、不正接続監視システムなど導入している機器やシステムの保守等を行い、機密文書の廃棄作業を実施した。	
社会情勢の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)		運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)	
1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積 (延床面積)		委託先	
3 規模・構造		2 配置人員	人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	千円
		4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
			ネットワークへの不正侵入・改ざん等発生件数	件	目標 実績	目標 実績

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
				内部監査	セキュリティポリシーの実施状況を検証する	回	目標 実績

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計 (A)	11,347	11,517	11,033	18,217				
A の財源内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	11,347	11,517	11,033	18,217				
事業投入人件費 (B)	0.1 人	0.1 人	0.1 人	0.1 人	720	720	720	
フルコスト(A)+(B)	12,067	12,237	11,753	18,937				

事務事業の評価 (Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
有効性	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無 無	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
効果性	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	
コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】

今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	馬場 清
事業の方向性	【方向性】 現状維持 【理由】 基幹系情報系ネットワークの安定稼働を維持してゆく
現時点における課題、その他	多くの個人情報を含む情報資産は、日々新たな脅威にさらされている。また紛失、改ざん、漏洩などを防止するため、PDCAサイクルを導入しセキュリティポリシーの見直しと取扱う職員等の研修等を行うことが望ましい。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	最新のセキュリティ対策システムの導入を検討し、平成23年度中に内部監査等によりセキュリティポリシー実施状況を検証する。